

リスクマネジメント

▶ マテリアリティ



事業基盤の強化

基本的な考え方

J-POWERグループは、社内規程に基づき、経営に重大な影響を及ぼす財務リスクのみならず、気候変動や人権等のサステナビリティに関するリスクを管理する体制を構築しています。この体制のもと、取締役会の監督による迅速な意思決定と、現場および専門会議体による自律的なリスク管理を両立させることで、企業価値の維持・向上と持続可能な社会への貢献を目指します。

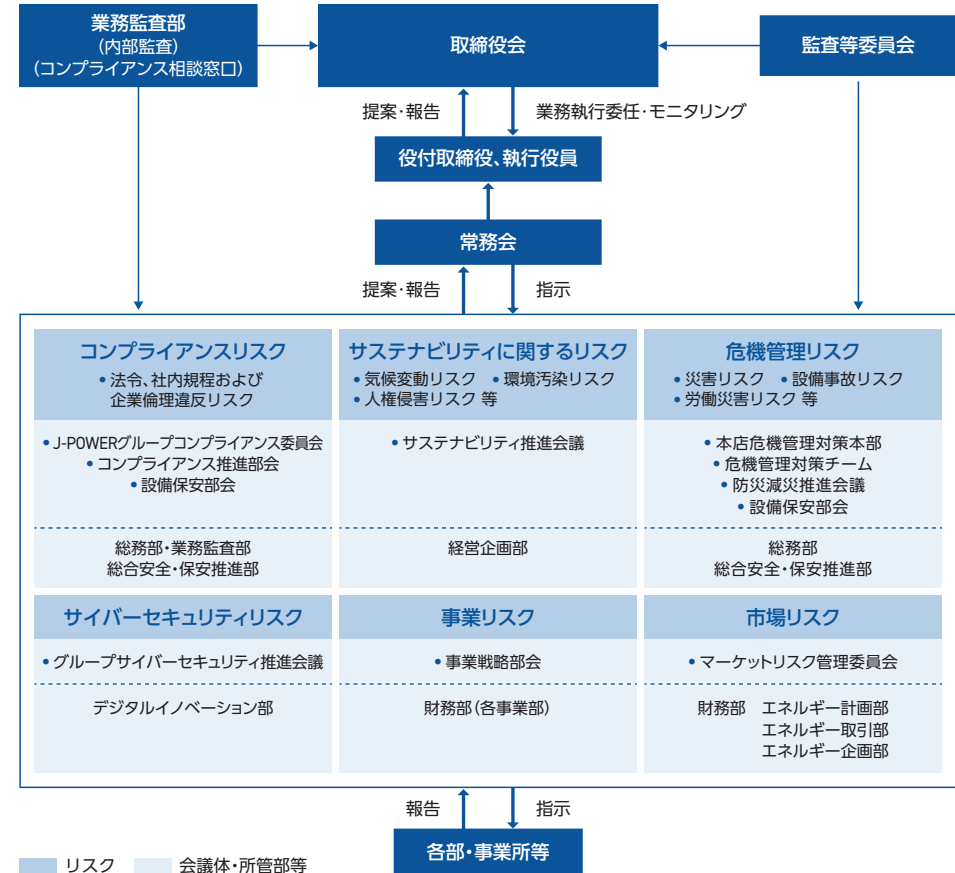
リスク管理体制

J-POWERグループでは、財務健全性と企業価値の維持・向上を目的として、企業活動に伴うさまざまなリスクを各部署が自律的に管理しつつ、全社横断的に管理すべき重要なリスクについては各専門の部会にて把握・分析・評価のうえ、対応策の検討、実施を行っています。各事業所等が平常時の危機管理としてあらかじめリスクを発見、評価および対策の検討を行うことを定め、そのリスク情報の集約を実施しています。そのうえで、取締役会が定期的な事業遂行状況の報告を受けることで、取締役会としてリスクを早期に把握して統合的に管理することが可能となり、適切な経営議論や意思決定の支えとなっています。これらの取り組みにより、社内の規程や体制が適切に見直し・整備され、企業活動の遂行にあたっての適切なリスクマネジメントの実現や、リスク発生時の影響の最小化を図っています。

各リスクへの対応

- コンプライアンスリスク [P.95 コンプライアンス](#)
- サステナビリティに関するリスク [P.21 サステナビリティの推進・マネジメント](#) [P.74 人権](#)
ESGリスクのフレームワーク
<https://www.jpowers.co.jp/sustainability/governance/riskmanagement/>
- 危機管理リスク [P.98 危機管理](#)
- 労働災害リスク [P.83 労働安全衛生](#)
- サイバーセキュリティリスク [P.99 サイバーセキュリティ](#)
- 事業リスク [P.59 投資案件に係るリスク管理 \(TCFDレポート\)](#)

リスク管理体制図



● 市場リスク管理

財務・企画・販売の各部門を所掌する執行役員および当該各部長で構成する「マーケットリスク管理委員会」において、電力取引における市場価格の変動などのリスク管理について審議し、ヘッジ対応他、リスク管理上必要な対策を検討・実施しています。また、燃料の調達や価格等の変動リスクに対しては、オーストラリア、インドネシア、北米など調達地域や積出港を分散化・多様化するほか、長期契約やスポット契約を組み合わせることで調達することに加え、一部の炭鉱権益を保有することで、それらのリスク分散を行っています。